

J E M A S 2025 年 9 月セミナー

～自然災害の強度レベルが強くなる中、化学物質の安全管理を見直そう～

地球温暖化の進行が主たる原因といわれていますが、今夏の猛暑は日本のみならず、世界各地でも山火事の頻発等の様々な影響をもたらしています。日本各地では例年になく猛暑、さらには米の生産地を中心とした全国的な旱魃と引き続いての国内各地での集中豪雨、メディアでもこれらのニュースにあふれています。また、高齢化社会が進行していく中で熱中症の防止対策も広く呼びかけられています。

このように猛暑は健康問題や食料の安定供給等、色々な課題を実感させられています。

加えて、これから本格的な台風シーズンに向かいますが、日本周辺の海水温の上昇もあり、今秋は一段と強い台風を経験するのが懸念されます。さらには、冬の豪雪も懸念されているのが現状です。

一方、化学物質管理については近年の労働安全衛生法改正もあり、企業ではこの対応に精力的に取り組んできました。しかし、我々は可燃物を含めた化学物質を各種のタンクやボンベ等の容器に入れて保存・管理・使用していますが、災害発生時にこれら容器による人的及び設備被害があまり知られていないのが現状です。又、近年の社会の無視できない変化として、情報化や高齢化が急速に進む中、従来の防災対策では対応が困難になってきたのも現状であり、能登半島地震ではこれが明らかになりました。

地球温暖化問題が注目を浴びる中、これによる自然災害の強大化の実例とその対策の一例として J E M A S、9 月のセミナーでは、これに関する自然災害の事例と化学物質管理を中心とした対策について話題提供し、ご参加の皆様と意見交換を行いたいと思っています。

なお、今回のセミナーも従来通り z o o m を用いて行います。

日 時： 2025 年(令和 7 年)9 月 21 日(日) 14:00～16:00

Zoom へのアクセス URL は zoom 参加申込者に、2～3 日前に担当理事から連絡します。

講演テーマ 台風等の自然災害が激しくなる中で、化学物質による事故・災害防止を如何に考えるか

講師 J E M A S 理事長、小山 富士雄
質疑応答および意見交換は講演時間に含みます

主 催：NPO 法人 日本環境管理監査人協会（J E M A S）

お申し込み：以下の事項を記入し、メールにてご送付ください。参加費は無料です。

申し込み期限は令和 7 年 9 月 15 日（月）24 時としますので厳守ください。

講演資料ですが、J E M A S 会員を対象に講演会の数日前に J E M A S の H P の会員専用欄にアップします。

会員外の方で資料ご希望の方はセミナー受付係に連絡ください。2000 円でお分けいたします。

非会員の方は是非この機会に是非ご入会ください（年会費 8000 円、入会費はなし）。

J E M A S の H P は以下の通りです。 <http://jemas.net>

セミナー申し込み先 受付はセミナー受付係宛 E-メール：fukoyama@east.cts.ne.jp

①参加者御氏名

②ご所属（お差支えない場合）

③連絡先の mail address